



ITEL誌の実践事例

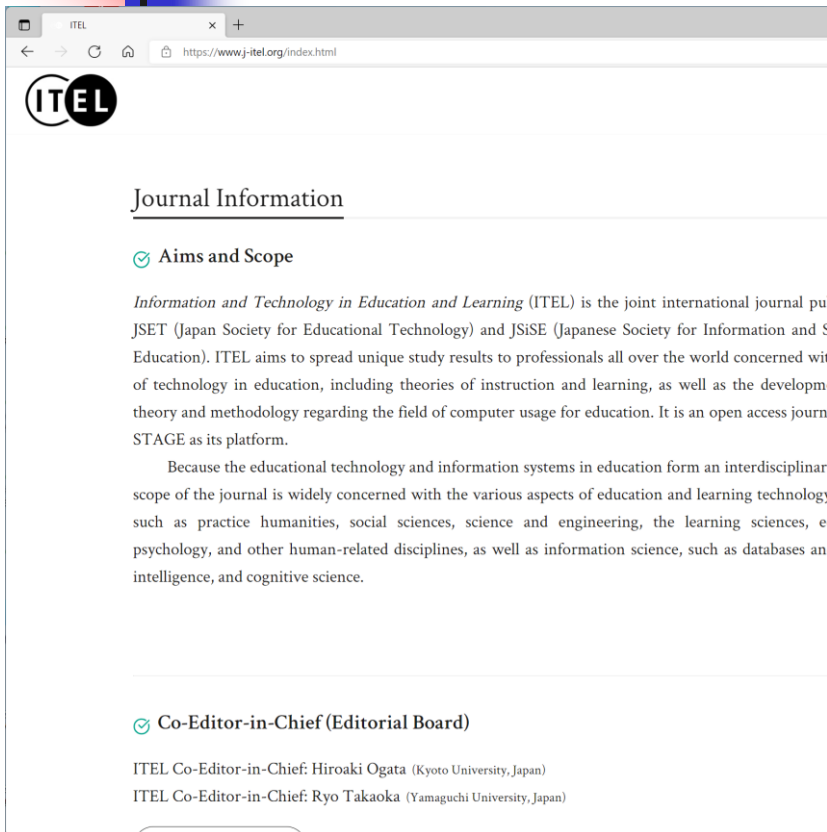
鷹岡 亮

(ITEL共同編集委員長/
教育システム情報学会(JSiSE)理事[英文誌編集委員会委員長]/
山口大学教育学部)

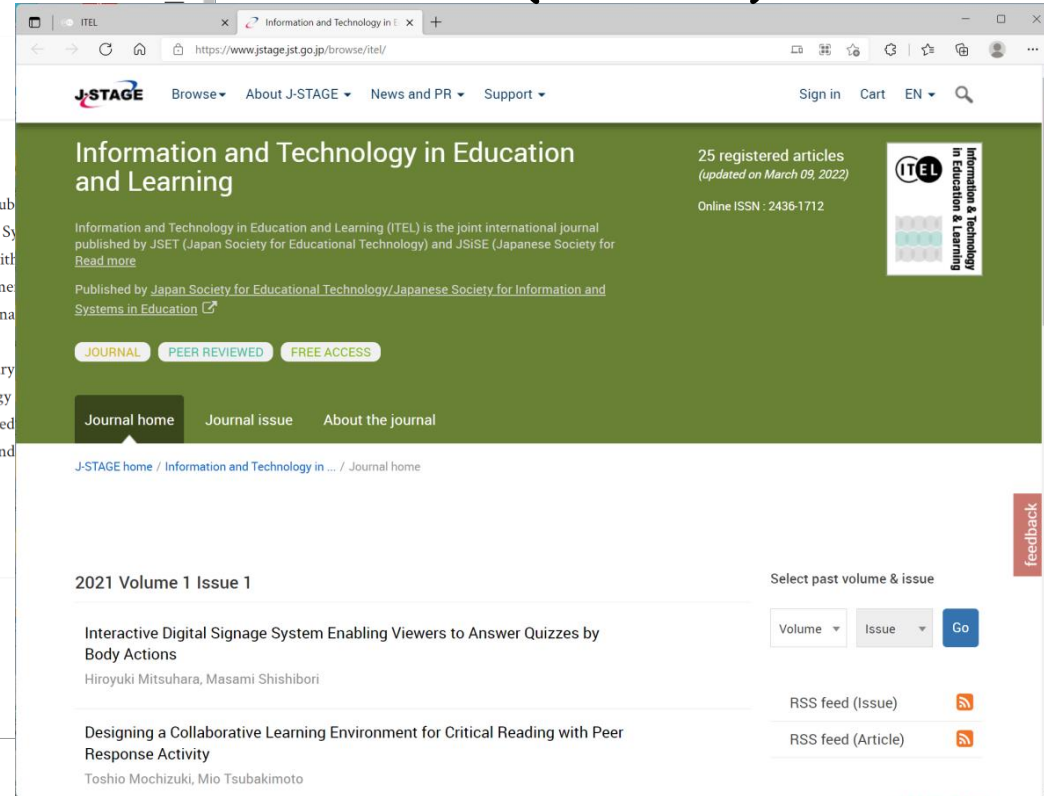
ryo@yamaguchi-u.ac.jp

ITEL について

2021年(Vol.1)から創刊



The screenshot shows the homepage of the ITEL journal. The page features the ITEL logo at the top left. Below the logo, there is a section titled "Journal Information" with a sub-section "Aims and Scope". The text describes ITEL as a joint international journal published by JSET and JSiSE, focusing on unique study results in education technology. Another section, "Co-Editor-in-Chief (Editorial Board)", lists Hiroaki Ogata and Ryo Takaoka as co-editors.



The screenshot shows the ITEL journal page on the J-STAGE platform. The page features the J-STAGE logo and navigation menu. The main content area displays the journal title "Information and Technology in Education and Learning" and indicates that there are 25 registered articles. Below this, there are buttons for "JOURNAL", "PEER REVIEWED", and "FREE ACCESS". The page also lists the journal's ISSN and provides a "Journal home" link. At the bottom, there is a section for "2021 Volume 1 Issue 1" with two article titles and their authors.

ITEL(Information and Technology in Education and Learning)

【 Journal URL 】 <https://www.j-itel.org/index.html>

【 J-STAGE URL 】 <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/>

[引用URL] ITEL: <https://www.j-itel.org/index.html>, 2022.03.09 access.

ITEL: <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/>, 2022.03.09 access.



合同英文誌を創刊した 2つの学会の概要は？

- ✓ 一般社団法人 日本教育工学会
- ✓ 一般社団法人 教育システム情報学会

一般社団法人 日本教育工学会

(JSET, JAPAN SOCIETY FOR EDUCATIONAL TECHNOLOGY)



【学術研究領域】心理学・教育学 情報学

■ 設立趣旨

教育工学に関する
学術的研究調査の情報の交換を行い、
この研究調査を援助し普及することを目的

■ 沿革

1984年 日本教育工学会 設立
2021年 一般社団法人日本教育工学会 設立

■ 会員数

【個人会員】正会員:2,429人, 準会員:586人
学生会員:342人, 名誉会員:17人



■ 日本教育工学会論文誌

[印刷体] 5回発行/1年

[eジャーナル] 5回発行/1年 (収録数: 2,327本)

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjet/-char/ja/>

■ Educational Technology Research

[印刷体] [eジャーナル] (収録数: 480本)

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/etr/_pubinfo/-char/en

一般社団法人 教育システム情報学会

(JSiSE, JAPANESE SOCIETY FOR INFORMATION AND SYSTEMS IN EDUCATION)

■ 設立趣旨

教育・学習のためのシステムに関する
学術的情報の交換と研究・開発・利用を支援し、
教育・学習と産業の発展に寄与することを目的

■ 沿革

1974年 CAI学会 設立

1995年 教育システム情報学会 改称

2014年 一般社団法人教育システム情報学会

■ 会員数

【個人会員】正会員:1,081人

【学術研究領域】心理学・教育学 情報学

■ 教育システム情報学会誌

[印刷体] 4回発行/1年

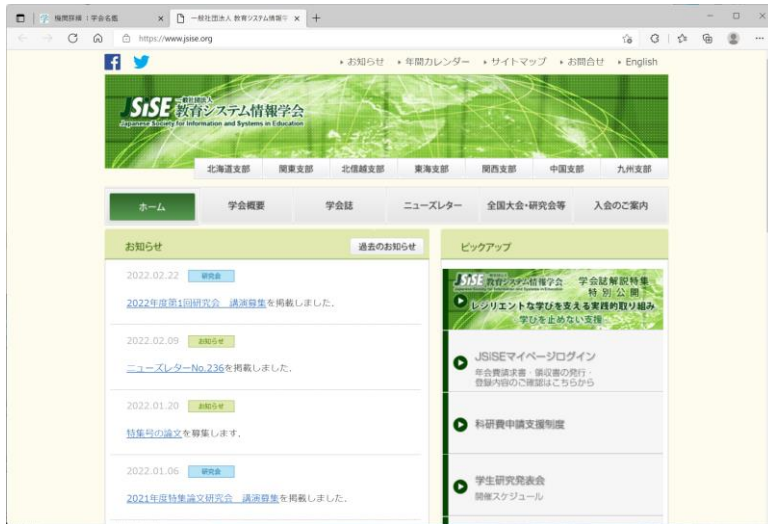
[eジャーナル] 4回発行/1年 (収録数: 610本)

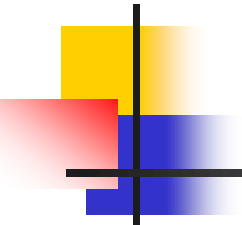
<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsise/-char/ja/>

■ The Journal of Information and Systems in Education

[印刷体] [eジャーナル] (収録数: 56本)

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise/>





JSET, JSiSE 両学会における 英文誌の課題とは？

教育工学・教育システム情報学分野 における英文誌の課題



教育工学・
教育システム
情報学分野の研究



JSISE 一般社団法人
教育システム情報学会
Japanese Society for Information and Systems in Education

- 多くの国際Journalの登場
- 国際Journalのindex化
- 業績評価の変化
- 日本発の研究を評価して
英文で国際的に情報発信
(日本の特徴を組み込んだ)



- 論文投稿数の減少
(2012:20件⇒2015:6件)
- 英論文誌維持の問題
(本学会規模感では困難)
- 査読プロセスの迅速化
(学位審査時期への対応)
- 日本語査読コメント対応



- 論文種別の片寄り
- 潜在的投稿可能
会員の存在

✓ 教育・学習・情報技術の融合領域における
国際的な発信力強化
✓ 研究交流の基盤として、
国際的に認められる日本発の合同英文誌



合同英文誌発行までの道のりは？

合同英文誌刊行までの3つのステップ

Step1 (2018年2月~2019年4月)

協定書締結までのプロセス

- ✓ 両学会メンバーによる協議
- ✓ 各学会でのWGによる協議

大きなところを議論して、
総論賛成で進む…

Step2 (2019年4月~2020年3月)

投稿受付・査読スタートまでのプロセス

- ✓ 2019.3: 準備委員会の設置
- ✓ 2020.1: ITEL編集委員会の設置

細かいところまで気づき・確認しつつ、
Updateしていく…

Step3 (2020年4月~2021年12月)

Vol.1発行までのプロセス

スケジュールコントロールを確実にしつつ、
新たな課題抽出・解決を図る…

Step I: 協定書締結までのプロセス

	JSET	JSiSE
~2018年2月	<ul style="list-style-type: none"> 非公式に両学会長等から了解を得て、各編集委員長等と合同英文誌の意義・必要性について合意し、各学会で公式に話を進めることを了解。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 検討WGの立ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 検討WGの立ち上げ (幹事団+和文誌委員長) (1)学会共同の独立ジャーナル (2)学会毎の編集部会方式 (3)仮想的合同ジャーナル
2018年3月	<ul style="list-style-type: none"> 両学会編集委員会・理事会で、合同英文誌に向けて相談を行っていくことについての公式に了解。 	
2018年4月	<ul style="list-style-type: none"> 両学会担当者(編集委員会関係者)による協議 <意欲的, 積極的> + 合同英文誌の話を積極的に進めることで合意 + 学会共同の独立ジャーナルの案で検討していくことに合意 + 2018年: 仕組みづくり, 2019年: 実装・移行期間, 2020年: 発刊 	
この間	<ul style="list-style-type: none"> 検討WGでの協議(仕組みづくり) 	<ul style="list-style-type: none"> 検討WGでの協議(仕組みづくり)
この間	<ul style="list-style-type: none"> 両学会代表者による協議(メール含む)・合同英文誌発刊の提案書づくり 	
2019年4月	<ul style="list-style-type: none"> 合同英文誌発刊に関する協定書の締結 	

JSETとJSiSEによる 合同英文誌発刊に関する協定書

既刊の英文雑誌を合同論文誌として統合することによって、わが国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化し、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指す

- 第1条 JSETとJSiSEは、両学会合同にて英文雑誌を発行
名称:「Information and Technology in Education and Learning」
発行頻度:年間1巻(1号)発行態様:電子媒体(J-STAGEプラットフォーム)
- 第2条 本誌は、両学会合同にて発行するもの。発行主体の表示はアルファベット順。
- 第3条 本誌の編集著作物としての著作権は、JSET及びJSiSEが持分均等にて共有。
- 第4条 本誌の発刊に必要な費用については、各学会が均等に負担。
- 第5条 本誌編集は、各学会が選任した編集委員で構成された編集委員会において、同委員会が定める編集方針に基づいて実施。
- 第6条 各学会は、本協定締結後速やかに、編集委員会を構成する編集委員を選任、2019年10月までに編集委員会を組織化。
- 第7条 本誌の第1号の発刊は2021年1月とし、2020年度をもって両学会の既存の英文誌を廃刊。
- 第8条 本誌の発行に関する具体的な詳細は、編集委員会において定める。
- 第9条 本誌の発行の費用負担、権利関係、情報システムの運用
その他本誌の存続にかかわる事項に関する詳細については、両学会協議の上、2019年12月末までに具体的詳細を決定するよう努める。それまでは、両学会が協議して必要事項を定める。

Step2:投稿受付・査読スタートまでのプロセス

	ITEL
2019年3月	<ul style="list-style-type: none">• ITEL準備委員会設置のための打合せ<ul style="list-style-type: none">+準備委員会メンバー(両学会6名ずつ)+作業内容:学会への位置づけ・規程,編集査読方針,システム準備等<ul style="list-style-type: none">-総務WG,編集WG,システムWG,広報WG+スケジュール:2019.10:編集委員会組織,2019.12:理事会等承認
2019年4月	<ul style="list-style-type: none">• 第0回 ITEL準備委員会(顔合わせ会)<ul style="list-style-type: none">+自己紹介,意見交換(査読回数,システム改修,進み方)
2019年4月	<ul style="list-style-type: none">• 幹事ミーティング<ul style="list-style-type: none">+スケジュール確認+進め方の基本方針の確認<ul style="list-style-type: none">- JSiSEの英文誌編集委員会の仕組みを基本。- JSETの要望・希望を組み込み Update。-作業量を最小にする方向を目指す。+JSiSE英文誌編集委員会の仕組みに対する確認・質疑・意見交換
2019年5月~ 2019年12月	<ul style="list-style-type: none">• 第1回(5/21),第2回(7/18),第3回(8月末)• 第4回(11/14),第5回(12/24)

準備委員会における個別作業実施のWG (I)

【スケジュール】 7月:中間報告[変更必要部分の検討]
8月末:具体的な変更必要部分(内容)の検討

■ 制度設計チーム

- 目標1:各学会編集委員会でどのように位置づける内規や規則を作るかについて検討し、共有する(実行はそれぞれの学会で行う)。
- 目標2:著者が両学会に著作権を譲渡したり、両学会が著作権利用を許諾したり、などといった著作権処理に関する仕組みを検討し、文章化する。
- 目標3:年間想定予算を確認し、JSET・JSiSE両方で折半するにあたっていくらかかるのかを見積もり、実現可能性を確認する。
- 目標4:研究不正への対応策について、合同編集委員会としてどう対応するべきかを検討し、文章化する。これには、これまでのETRやJISEにおける取り組みについて参考にする。

■ システム確認チーム

- 目標1:著者が投稿から照会、採録を受け取るまでのシステムおよび人間(編集事務局やMLベースのやりとり)のプロトコルを確認し、共有する→編集関連確認チームと共有する。
- 目標2:編集プロセスが検討されたのち、改修の必要性について検討し、改修に必要な内容を精査する。
- 目標3:編集事務局の新システムなるものの実態について調べ、場合によってはその活用可能性について提案を行う。

準備委員会における個別作業実施のWG (2)

■ 編集関連確認チーム

- 目標1: 前提となるカテゴリに従って、査読のプロトコルを確認し、共有する。具体的には以下の点である。これらを何らかの文書化し共有する。
 - JSiSEの担当編集委員・査読者の選定プロセスや基準について
 - JSiSEの担当編集委員・査読者と編集委員会とのやりとりについて(査読の方針等)
 - JSiSEの判定基準の考え方について(前提カテゴリがない場合は、目標2で作る)
- 目標2: JSET側の要望で作られるカテゴリの評価基準を作る。
- 目標3: 目標1・目標2を踏まえて、評価基準や査読のやり方の修正が必要な点がないかどうかを検討する。場合によってはその内容について新しく提案を行う。
- 目標4: 目標1～3をふまえて、システムグループと共有し、システム上問題がないかどうかを確認し、必要に応じて改修するべき点を提案する。
- 目標5: 募集から発行に至るまでのマイルストーンを確認し、発行スケジュールとしてどのようなアピールを行うかを検討する。

■ 広報など取り組みチーム

- 目標1: プロジェクト工程表にしたがって、どの段階でどの(国際)学会にどのようにアプローチするか、どのように広報を進めるかの原案を作成する。
- 目標2: 依頼原稿に関する制度について、これまでの両学会の取り組み、調査を行った上で、制度設計グループに提案をする。
- 目標3: 依頼原稿を誰にいつお願いするか、等について原案を作成し、編集関連グループに提案する。

ITEL工程表

ToDo	2019.5	2019.6	2019.7	2019.8	2019.9	2019.10	2019.11	2019.12	2020.1	2020.2	2020.3	2020.4	2020.5	2020.6	2020.7	2020.8	2020.9	2020.10	2020.11	2020.12	2021.1		
JSET理事会	▲	▲	▲	△	▲	△	▲	△	△	(▲)	▲		▲	▲	▲	△	▲	△	▲			△はメール審議 2020.5)	
JSET編集委員会	▲		▲		△?		▲		△		▲		▲		▲				▲			△はメール審議 2020.5)	
JSET大会					▲						▲						▲						
JSISE理事会	▲	▲6.22			▲9.12			▲12.21		▲		▲	▲				▲			▲			
JSISE編集委員会 (英文誌)	<<<メール審議を経て、理事会へ報告される>>>																						
JSISE大会					▲9.11-13																		
国際会議等								▲ICCE												▲ICCE			
JSET	準備委員会承認	▲【編集委員会・▲スケジュールアナウンス・移行措置開始										▲ETR募集停止?										▲ETR発行完了。	※各学会システムで投稿
JSISE	準備委員会承認	▲6-7月? 移行措置期間開始アナウ										▲JISE募集停止 (11末)										▲IJSISE Vol.20発行完了	※各学会システムで投稿
ITEL	▲TF組織・アジ:		▲各TF中間報告				▲合同編集委員会承認														▲一通り公開	(事前公開するの?)	
	▲幹事団ML会議		(どこを変えなければならないのか)				▲メンバー名簿																
			原案をできるだけ尊重して、変更力				→→→ ▲著作権関連														★Vol.1 (1)の編集方針 (?)		
			具体的な変更内容は、8月末までに				→→→ ▲各学会における規定														・招待論文中心?		
							→→→ ▲国際文献社との交渉済み (払い方を含めて)														・統合前雑誌の原稿? OK		
							→→→ ▲掲載料														・1月末にするか?		
											▲4.1公募開始										・変更するには、理事会審議が必要。		
							→→→ ▲査読ポリシー				▲システム公開												
							→→→ ▲査読プロセス																
																							▲システム改修開始

Step2:投稿受付・査読スタートまでのプロセス

	ITEL
2020年1月～	<ul style="list-style-type: none">• ITEL編集委員会の設置<ul style="list-style-type: none">－委員会メンバー<ul style="list-style-type: none">*幹事団(共同編集委員長:2名, 幹事:2名[両学会1名ずつ])*委員(JSET:9名, JSiSE:12名)⇒ 現行は, 両学会から10名ずつ(委員長等含む)－投稿受付までの会議<ul style="list-style-type: none">*第1回(1/15), 第2回(2/4)*第3回(3/9), 第4回(3/19), 第5回(3/30)
2020年4月～	<ul style="list-style-type: none">• ITEL Vol.1の投稿受付 スタート

JSiSEにおける最初のITEL論文募集広報

合同英文誌 ITEL 論文募集！

教育システム情報学会 (JSiSE) では、2002 年から英文誌 (The Journal of Information and Systems in Education) を発行してまいりましたが、この4月1日より、日本教育工学会 (JSET) との合同英文誌 ITEL (Information and Technology in Education and Learning) を立ち上げることになりました。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。

ITEL は、JSiSE 英文誌と同様、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL の1号 (Vol. 1) は、2021 年1月を予定しております。本学会の多くの皆さまにご投稿いただき、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただければと思っております。

下記の要領に沿って、投稿の準備を進めて頂きますよう、よろ

○ ITEL Web サイト：

<https://www.j-itel.org>

○ 論文種別：

一般論文 (Regular Paper, 基本8ページ)

実践論文 (Practice Paper, 基本8ページ)

システム開発論文 (Development Paper, 基本8ページ)

ショート論文 (Short Paper, 基本4ページで最長6ページ)

<これまでのショートノート (Short Note) と実践速報 (Report)

○ 投稿締切：

1年中投稿を受け付けています

<JSiSE英文誌と同様、投稿後、7か月までには、採録の可否を決定・通知する予定です>

○ 査読方法：

- ✓ 論文の査読は、JSiSE英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
- ✓ 査読者は2名 (Short Paper は1名) で、査読回数は2回となります (著者照会は1回のみ)。
- ✓ 評価項目は、Originality (新規性)、Usefulness (有用性)、Reliability (信頼性)、Presentation (明瞭性) の4項目となります。
- ✓ JSiSE英文誌と異なり、査読中に、投稿論文の種別変更はありません。
- ✓ 投稿者の希望に基づき、JSiSE英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



Step3: Vol.1 発行までのプロセス

ITEL

2020年5月
～

- ITEL編集委員会の運営
 - －Vol.1 発刊までの会議
 - *第6回(5/25), 第7回(6/29), 第8回(7/26), 第9回(8/24),
 - *第10回(9/29), 第11回(10/26), 第12回(11/26), 第13回(12/26)
 - *第14回(1/26), 第15回(2/18), 第16回(3/25)
 - －活動内容
 - *査読・編集の進行
 - *編集委員会規定の改訂, 査読プロセスの改訂・見直し
 - *査読の手引き, 投稿システムマニュアル等の作成
 - *公開する論文のライセンスの検討(DOAJ搭載, CCL)
 - *Copyright Transfer Agreementの改訂

2021年4月
～

- ITEL Vol.1の発行

2022年1月
～

- ITEL Vol.2の発行

2022年1月
～

- ITEL編集委員会の運営
 - *剽窃チェック(J-STAGE Similarity Check)導入の検討

ITEL Vol. I の掲載論文数について

The screenshot shows the ITEL journal homepage. The main heading is "Information and Technology in Education and Learning". Below it, there is a description of the journal as a joint international journal published by JSET and JSISE. The page also indicates "25 registered articles (updated on March 09, 2022)" and "Online ISSN : 2436-1712". There are navigation links for "Journal home", "Journal issue", and "About the journal". The current issue is "2021 Volume 1 Issue 1". Two articles are listed:

- Interactive Digital Signage System Enabling Viewers to Answer Quizzes by Body Actions
Hiroyuki Mitsuhara, Masami Shishibori
- Designing a Collaborative Learning Environment for Critical Reading with Peer Response Activity
Toshio Mochizuki, Mio Tsubakimoto

- Editorial Notes: 1件 (Ed.001)
- Invited Papers: 4件 (Inv.p001~004)
- Regular Papers: 5件 (Reg.p001~005)
- Practice Papers: 3件 (Pra.p001~003)
- Development Paper: 1件 (Dev.p001)
- Review Paper: 1件 (Rvw.p001)
- Short Paper: 2件 (Sh.p001~002)
- Translations: 8件 (Transl.001~008)

まとめと今後の課題

■ 目的が果たせた要因

- 両学会の少し異なった特徴があったこと
- 両学会が有する課題を解決する必要性があったこと
- 研究領域(教育・学習・情報技術の融合領域)における国際的な発信力強化の必要性があったこと[日本発へのこだわり(!?)]
- 両学会のキーパーソンによる目的を見据えた大きな枠組みづくりと小さな(大きな)違いを後回しにできたこと[心情面含めて]
- 両学会理事会が将来を見据えた前向きな方向性・考え方を打ち出せたこと
- 準備委員会・委員会運営時における、国際Journal・Conference運営の感覚を有したリーダーの存在と準備委員会・委員会委員に積極的に協働・協力して頂けたこと

■ 今後の課題

- 本英論文誌の目指すべきところとは? それに対する課題への対応。
- 投稿本数を確保すること
- 委員会運営時の様々な課題への対応。